

## 杉並区立西田小学校 令和4年度第2回 学校運営協議会記録

- ・日時 令和4年5月16日（月） 午後4時から午後5時20分
- ・場所 図書室
- ・出席者 諏訪会長、棚橋職務代行  
【委員】鈴木校長、恵羅、渡邊、半澤、目黒、檜枝（記録）  
【事務局】神近
- ・資料 資料1 令和4年度第2回学校運営協議会次第  
資料2 令和4年度西田小工事工程表

### 1 会長挨拶

- ・議題4と関係する内容の発言をする。内閣府の教育・人材育成ワーキンググループの「Society 5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」の「【政策1】子供の特性を重視した学びの「時間」と「空間」の多様化<目指すイメージ①>」によれば、教員組織は同質・均質な集団から「多様な人材・協働体制」への転換が求められている。つまり、従来の教員組織にとってのよそ者が加わるのが大切になる。問題点は、よそ者は学校文化・教員文化になれていないこと、一方学校側はよそ者への拒絶感があることである。したがって、両者をつなぐコーディネーターが必要になるが、十分に機能するようなコーディネーターはこれから実現すべき課題であろう。杉並区に学校・地域コーディネーターが居るが、両者をつなぐ本格的なコーディネーターとしては不足している。どうすればうまくいくようになるのか今後の課題であろう。

教育を充実するためには、財源が必要だが十分だろうか。よそ者との協働関係がどのように実現するのか強い関心を持っている。

### 2 校長挨拶

- ・新学年が始まって、一カ月半ほど経過した。
- ・運動会の練習が始まったが、教員が指示するのではなく、なるべく子どもたちの自主性を重んじて行っている。
- ・私の4年間の働きかけが実ったとがある。週間の生活目標は生活委員会の教員が決めていたが、教員の案は参考にして児童が決めて児童が呼びかけことが今週出来た。教員が学校経営方針を良く理解して、そのように児童に働きかけくれているお陰と教員に感謝している。
- ・運動会は6/28（土）に行うので、CSの皆さんに見に来て欲しい。
- ・クラスの雰囲気は良い。新しい先生も馴染んでいる。
- ・大学生が10人ぐらい授業を見学して、児童と話し合いを持つ企画が進んでいる。

- ・ユネスコスクールで行ってきたことを、いろいろな方が見তেくれている、外部からの問い合わせが来ている。例えば、台湾の学校がSDGsに取り組む初めて、西田小の取り組みに関心を持ってくれている。取り組んできたかがあったと思っている。

### 3 今年度の工事について

- ・校長が資料2に従って説明した。

### 4 放課後学習教室（仮名）について

- ・校長から以下の説明があった。学校評価の課題への対応として出てきた案。課題はもっと時間をかけて習熟すれば学力が上がる児童がいるが、個別に見る時間が無い。現状は水曜日の放課後に年間15回のパワーアップタイムがあるが、それとは違う取り組みとして学校支援本部にお願いすることができないか検討した。支援本部はそのようなことは可能なことが分かった。

原案：月2回金曜日の放課後に1時間実施。対象児童は教員が指名して保護者が希望する場合のみ。教員ではなく支援本部が依頼した人が対応。

- ・学校支援本部長の半澤委員から以下の説明があった。その子にふさわしい個別の教材をどうするか課題。教室の名称は検討中。教員と相談しながら実現に向けて準備。1学期中に開始できるように頑張っている。
- ・以下の質問と意見があった。
  - \* 指導するのか？ ⇒ 指導ではなく見守りをする。児童が自主的に学習して、その丸付けをするような。
  - \* 支援本部がそのような活動ができるのか？予算はどうなるのか？制度的に可能か？ ⇒ 可能。
  - \* 主要な点は成文化すべきであろう。
  - \* 方向性は良いので、うまくいくようにして欲しい。どのようにすれば効果が上がるのかについての議論を深めてほしい。教材だけでなく、どういう人が関わるかも課題。
  - \* 教員との懇談の際に、「分かっていない児童が居ることが分かっている、全体として進まざるを得ないことがある」と聞いた。その状況を具体的に解消するようなことをするのが良い。例えば、九九が定着していない児童には九九と一緒に練習するとか。
  - \* 他校で行った学習支援の経験。一人の児童に家庭教師のように45分間つきっきりで児童のペースに合わせて付き合うと、分からなかったことが腑に落ちて児童の顔が明るくなるがあった。
  - \* 児童の状況に応じた多様な支援には、状況を把握している担任の先生からの情報が必要になる。
  - \* 多様な支援が必要であるならば、少人数で初めて試行錯誤しながらよりよく改善するのが良からう。とにかく始めることが大切。

- \* 小学生が中高大学生と触れ合うことは良い効果があるので、そのような機会をつくれなから。
- \* 公平性について疑義が出ないか。
- \* 支援本部がコーディネートして、児童に対応する人が教員の要望を聞くような機会があると良い。
- \* 良い話なので、とにかく初めてみたらどうか。

## 5 その他

- 諏訪会長から以下の報告があった。本日 18 時から、桃二小山本 CS 会長、西田小諏訪 CS 会長、松溪中檜枝 CS 会長が、3 校 CS 合同の取り組みについて懇談する。

## 6 月学校運営協議会開催予定

6 月 27 日（月）午後 4 時 00 分～午後 5 時 30 分

なお、同日 2 時 30 分より第 11 回 80 周年記念行事実行委員会（地域・保護者の部）開催

以上